

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画												
計画の名称	太田川ダムにおける管理機能の強化(防災・安全)											
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度			交付対象	静岡県							
計画の目標	太田川ダムにおける低水放流設備を一部改良し、新たに小水力発電機を設置することで、自家用電源の確保によるダム管理機能の強化及び再生可能エネルギーの利用推進による二酸化炭素排出量の抑制を図る。また、余剰電力を充電することで、ダム管理コストの縮減を図る。											
計画の成果目標(定量的指標)	非常時のダム維持管理に必要な電力について、予備発電設備(80kW 連続運転可能時間43時間)以外に、安定的な電源(199kW)を確保する。再生可能エネルギーの利用推進により、CO2排出量を年間695 t 抑制する。											
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考
									当初現況値	中間目標値	最終目標値	
									(H29当初)	(H30末)	(H31末)	
①	非常時におけるダム維持管理のための予備電源								1 基	- 基	2 基	
②	再生可能エネルギーによる年間CO2排出抑制量								0 t	- t	695 t	
③												
全体事業費	合計(A+B+C)	388 百万円	A	388 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0%	
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容(延長・面積等)			市町名	全体事業費(百万円)	備考		
河川事業		太田川ダム堰堤改良事業			ダム管理用小水力発電設備設置工事			森町	388			
事業数												
	1											
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)												
計画の移行なし	○	1	△	0	-	0	備考		計画の移行あり	●	▲	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況												
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の予備発電設備に加え、小水力発電設備による安定的な電源を確保した。</li> <li>令和2年度の発電実績では、年間541t相当のCO2の排出量を抑制した。</li> </ul>												
II 定量的指標の達成状況	指標①(安定的な電源を確保)	最終目標値	2 基		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	2 基									
	指標②(CO2年間排出量の抑制)	最終目標値	695 t		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	541 t									
	指標③( )	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況												
再生可能エネルギーの固定価格買取制度(改正FIT法)を活用し、約3,300万円の売電収益を得た。												
4. 今後の方針等												
今後も、太田川ダムの維持管理に努め、合わせて小水力発電設備を適切に管理・運用し、CO2排出抑制に努めていく。												